



令和元年10月8日（火）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
環境企画課	生物多様性係	大野	内線 2700
		陣出	直通 058-272-8231
		谷口	FAX 058-278-8231

## 岐阜県内におけるアカカミアリの確認について

本日、環境省中部地方環境事務所から、令和元年10月5日（土）に海津市海津町萱野地内において発見された約300個体のアリについて、専門家による同定の結果、特定外来生物であるアカカミアリと確認されたとの連絡がありましたので、お知らせします。

確認された個体については、既に全て殺虫処理し、発見されたコンテナ周辺には殺虫餌（ベイト剤）と粘着トラップを設置しています。

### 【経緯】

9月15日（日）

- ・バングラデシュのチッタゴン港から当該コンテナを積載した貨物船が出港

10月2日（水）

- ・名古屋港飛島ふ頭に入港し、当該コンテナを陸揚げ

10月5日（土）

- ・陸路にて当該コンテナを海津市内の事業者倉庫に移動し、事業者がコンテナから荷下ろし作業中にコンテナの床にアリを確認。殺虫処理を実施してコンテナを密閉。荷下ろしした段ボール箱については、目視にて確認しながら殺虫処理を実施。
- ・事業者から岐阜県西濃県事務所に通報。西濃県事務所環境課職員が、コンテナ内に約300個体のアリを確認し、殺虫処理を実施。
- ・県がスクリーニングを実施した結果、ヒアリ又はアカカミアリの疑いがあったため、環境省中部地方環境事務所に特定検査を依頼。
- ・県がコンテナ及びその周辺に殺虫剤と粘着トラップを設置。

10月7日（月）

- ・当該コンテナについては事業者が燻蒸消毒を実施。

10月8日（火）

- ・環境省中部地方環境事務所から、当該アリについて、専門家による同定の結果アカカミアリと確認されたとの連絡あり。

### 【今回確認されたアリについて】

当該コンテナにおいて確認されたアリは、アカカミアリの働きアリ約300個体、蛹、幼虫、卵です。

### 【今後の対応】

県はアカカミアリが確認された地点を中心に調査を実施し、疑わしいアリを発見した場合は環境省等と協力して速やかに殺虫処分するなどの防除を実施します。

## 【その他】

本県では、平成29年8月2日に、岐阜市宇佐南地内において、アカカミアリが発見されており、今回は2例目です。

○疑わしいアリを発見された方は、以下に留意するようお願いします。

<一般の皆様へのお願い>

ヒアリやアカカミアリと疑わしいアリを発見した場合は、お近くの岐阜地域環境室または県事務所環境課にご相談ください。

また、ヒアリやアカカミアリの特徴等一般的な問い合わせ、健康被害の問い合わせ等については、国において「ヒアリ相談ダイヤル」を開設されていますので、御利用ください。

- ・受付日：7月～9月 土日祝を含む毎日  
10月～3月 月・水・金（ただし、12月29日～1月3日を除く）
- ・受付日時：午前9時から午後5時
- ・ヒアリ相談ダイヤル 0570-046-110

令和元年7月1日からはチャットボット（自動会話プログラム）による情報提供や相談受付等がご利用出来ます。以下のURLから、24時間、365日御利用いただけます。

「アリーのヒアリ相談チャットボット」

[https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/05\\_contact/index.html](https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/05_contact/index.html)

<事業者の皆様へのお願い>

コンテナの開封時にヒアリやアカカミアリと疑わしいアリを発見した場合、まずは刺激を避けつつ、コンテナのどの箇所にどの程度の生きたアリ類がいるか等、状況を確認してください。

多数の生きたアリ類の集団がいる（予想される）場合は、コンテナの扉を閉めて逃げ出さないよう静置してください。そのうえで、関係機関（港湾管理者、地方公共団体、環境省地方環境事務所等）に速やかに連絡し、取り扱いについて相談してください。可能であれば、強粘着の布ガムテープでコンテナの目張りをするなど、アリが逃げ出さないよう対応してください。

アリ類が少数しかおらず、逃げ出す恐れのない場合は、市販のスプレー式殺虫剤等でその場で駆除してください。その上で、関係機関に速やかに連絡し、取り扱いについて相談してください。

詳しくは、環境省の「ヒアリの防除に関する基本的考え方 Ver.2.0」のP.16～20を参照してください。

[https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/file/hiariboujo\\_Ver.2.0.pdf](https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/file/hiariboujo_Ver.2.0.pdf)

## ○アカカミアリについて

### 1. 生態

- ・原産地：アメリカ合衆国南部～中米
- ・日本での生息状況：硫黄島に定着。その他沖縄県等で確認記録があり、過去には輸入貨物の検査時に検出された例が複数回ある。
- ・亜熱帯地域の裸地や草地などの開けた環境に生息し、土中に営巣する。雑食性で、甘露や植物の種などを餌とする。水に浮かんで集団で移動するなど拡散の能力が高い。

### 2. 懸念される影響

- (1) 生態系に関わる被害：攻撃的で高い採餌能力を持ち、他の小型節足動物などを捕食し、在来の生物多様性を減少させることが知られている。硫黄島においては、他のアリ類を駆逐し最優占種となっている。
- (2) 人体に関わる被害：刺されると、アルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、水疱状に腫れる。ヒアリに比べると毒は弱いといわれている。

ヒアリ・アカカミアリの詳しい情報については、下記のページをご参照ください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/kankyo/shizenhogo/c11265/gifu-hiari.html>